

## 1. 学内からの視点

### (1) プログラムの履修・修得状況

本プログラムリテラシーレベルの対象科目はすべて必修科目である。プログラムの履修・修得者はほぼ100%となるが、編入学生（外国人留学生、4年次編入学生）はプログラムの対象外となる。

### (2) 学修成果

対象科目の履修者全員が、単位を修得し、各科目で学んだ内容を身に付けている。なお、学んだ内容は、上級学年の様々な活動で活用されている。

### (3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

授業内容改善のため、学生を対象に授業評価アンケートを実施している。このアンケート項目の内容について、本プログラムの理解度を計るには不十分と考えられるため、来年度に向けて、理解度を確認する項目を設ける予定である。

### (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本プログラムに設定されている科目はすべて必修科目である。令和4年度の学科再編後のカリキュラムではデータサイエンス科目群の枠組みを設置しており、今後も在学生および入学希望者に対しても広く推奨していく。

### (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

本プログラムは4年次までの必修科目として設定しており、令和元年度以降の入学生はほぼ100%の履修率となる。今後も教育改善に取り組みながらこれを継続する。

## 2. 学外からの視点

### (1) 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

令和4年度時点で、本プログラムの修了者の卒業生はいない。

### (2) 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

数理・データサイエンス・AI教育の分野において、産業界から高い期待が寄せられている。

## 3. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

対象科目の授業評価アンケートにおいて、「将来の自分に必要かどうかを考えたことができた」という質問に対して、「強くそう思う」「そう思う」が高い水準を維持している。このことから、数理・データサイエンス・AIの知識の必要性は、十分理解しているものと考えられる。

## 4. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

対象科目の授業評価アンケートにおいて、「授業の内容（難易度）は」という質問に対して、「ちょうど良い」が高い水準である。また、同アンケートの「授業の話し方（口頭での説明のしかた）は」という質問に対して、「分かり易い」及び「やや分かり易い」が高い水準を維持していることから、「分かりやすい」授業を実施できているものと考えられる。

出席者：楡井教育改善委員会委員長、古川総務主事、  
濱口教務主事、齊藤教務係長